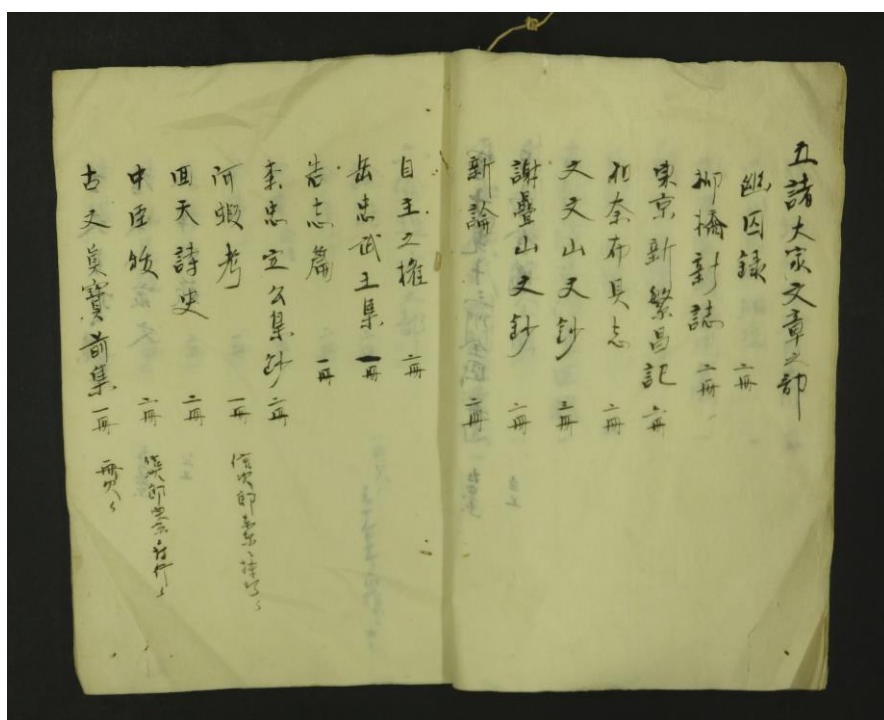
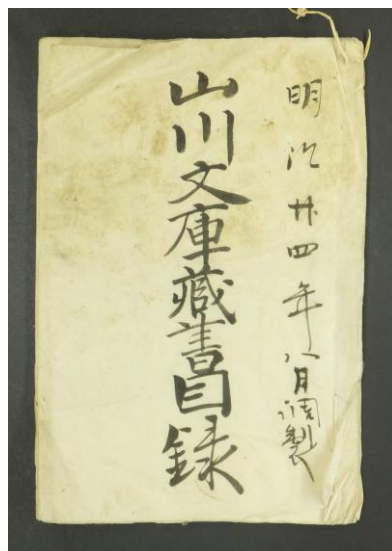


## 山川文庫蔵書目録



下赤工村(現飯能市原市場)の山川家で明治24(1891)年に作られた目録です。同家の主要な蔵書が「歴史」「法学」「倫理」など9種に分類され、書き上げられています。

山川家ではこの時期長男義太郎が東京帝国大学工科大学助教授、後に夏目漱石の友人として『草枕』のモデルとなる次男信次郎が帝大生、また三男弘毅も学生として東京で生活していました。そのためか、目録の所々に「信次郎東京ニ持行」や「在東京」という文字が見られます。彼らは後に近代日本の第一線で学者・教員として活躍し、山川家は学者一家として知られるようになりますが、三兄弟の学問形成の一端をこの目録は示しているのかもしれませんが。